

愛知県退職校長会会報

目次

就任あいさつ	1
退任あいさつ	1
退職校長会総会報告	1
役員名簿	2
全連退総会報告	2
生き生きライフ	2・3
退職校長会入会状況	3
会員交流広場	4
現職校長会情報	4

題字・切り絵

25年度入会

古池拓雄 (元 稲沢・稲沢西中)

就任あいさつ



継続に感謝

新会長

中川 正明

去る三月十八日、平成二十六年年度の総会において会長という大役を仰せつかりました。微力ではございますが、役員の皆様、会員の皆様のご支援をいただく中で精一杯、会の運営に携わって参る所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たち退職校長会の活動は先輩諸氏の思いを確実に引き継ぎ、改善を重ねながら今日に至っております。

今年度の活動は、安藤前会長の思いを引き継ぎ、現職校長会との連携活動を模索して参りたいと思っております。次に、活動の要である会報による広報・交流活動の充実です。更に全連退への役員派遣に伴う全国の情報取得、広報に努めて参ります。

次に会の報告事項です。

この三月に退職された二百三十五名の校長先生方にご入会いただきました。ありがとうございます。お陰で諸経費を納入いただいている会員総数(七年会員)は千七百五十六名になりました。入会金三千円と年千円の諸経費を七年分ご負担いただいております。八年目以降は経費の負担はありませんが、会員資格は終身になってまいります。

また、八年目以降の会報配付は、希望にて四十人の会員の皆様に実費にてお願いしております。本当に感謝です。

以上報告し、就任の挨拶にかえさせていただきます。



退任あいさつ

支援に感謝

前会長

安藤 公明

三月の総会で会長を退任いたしました。平成十五年、現職を終えた時点から常任理事を仰せつかつて以降、副会長・会長と、連続十一年間本会の

仕事に携わらせていただきました。長年にわたって役員や会員の皆様からいただきましたご指導・ご支援・ご協力に心からお礼を申し上げます。

本会は、平成十五年より会費納入会員期間が七年になり、会員数や予算規模が拡大しました。それに伴い、より活動の充実を図るために活性化小委員会を設置し、会員への還元や支部との連携等に取り組んでまいりました。

とくに会員各位にお届けする会報を見やすく親しみのあるものにと、会員の方々の生き生きとした日々の様子や、学校支援活動等の紹介に努めました。

支部との連携は、各地区の退職校長会との組織上の違いもあり、一体となった活動の難しさを感じて今日に至っております。

また、愛知県での東海北陸協議会を二度経験しましたが会員の方々のご支援で立派な会が開催できたことも強く印象に残っております。

今後とも、全国や東海北陸地区、県の現職校長会との連携を保ちつつ、会員の皆様の日々の過ごし方に寄与できる本会であるよう祈念し、会員の皆様方のご健勝をお祈りしお礼のごあいさつとします。

平成二十六年年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十八日(金)に名古屋ガーデンパレスにて、支部長・理事等の出席をえて開催されました。

総会の冒頭挨拶で、安藤会長は、愛知県の「七年会員制」のよさや各支部との連携、現職を応援するための研修のあり方について語られました。

その後、平成二十五年年度の事業報告、会計決算報告・会計監査報告、二十六年年度の事業計画(案)・予算(案)の審議がなされ、議事はすべて承認されました。

役員の改選では、本会の発展にご尽力をいただきました安藤公明会長がご退任され、新会長に中川正明氏が選任されました。また、名倉治男副会長がご退任され、夏目忠士・加賀昭一・小坂愛祐副会長が再任され、柴田規矩司・加藤正躬氏が、新副会長に選任されました。

新役員を代表して、中川会長は「半歩でも一歩でも前へ」と本会の発展について述べられ、総会は終了しました。

平成26年度 愛知県退職校長会 役員名簿 (敬称略)

会長 (尾張) 中川 正明	副会長 (尾張) 加賀 昭一	支部長 (尾張) 柴田 規矩司	常任理事 (尾張) 新海 弘康 (三河) 鈴木 朋充 (尾張) 江本 雅人 (名古屋) 坂野 重隆 (三河) 太田 武司	理事 (尾張) 加藤 立美 (三河) 二宮 要 安東 伊串 博 永田 淑子 一宮 登 松山 基紀 坂本 憲昭 二宮 英二 小林 啓子 山中 三江子 榊岡 譲 尾崎 智 近藤 真澄 鈴木 栄二 石田 孝 小泉 孝 野々山 里美 山田 淳夫 木村 博彦 本田 修三 鈴木 博志 杉浦 宏幸 水越 光久 (三河) 岡田 康夫 (尾張) 小田 原晴夫 (名古屋) 杉浦 宏幸
------------------	-------------------	--------------------	---	---

平成二十六年 全連退総会報告

副会長
柴田 規矩司

平成二十六年第五十回全連退校長会総会が六月五日(木)、東京両国の「江戸東京博物館」で開催された。本県からは中川正明会長、加賀昭一・加藤正躬副会長と私の四名が参加した。

戸張敦雄全連退会長が挨拶で、東日本大震災及び原発事故被害の復興支援、教育の充実、各退職校長会相互の連携などの活動推進を訴えられた。そして、会長として人間性豊かな全連退活動を進める決意を述べられた。

そのあと、来賓挨拶に続き会務報告、会計、事業等の六議案が承認された。

午後は、東京学芸大学名誉教授児島邦宏氏の「学校改善の課題と実践的方策」と題する講演が行われた。

児島氏は、最近の子どもの行動や授業改善の取り組み等で気になることを具体的に指摘され、校長OBにも機会をとらえて経験を生かした助言をしてほしいと結ばれた。

生き生きライフ

再結成

20年度入会 武藤 康治
(元 名古屋・橋小)



「Hoot Who's Who」(フート フーズ フー) 初ライブ

その後、老人会や、子供たちの集まりなどで、ライブを重ねること十六回になった。

去る四月に行われた同級会で、演奏していると「ハモツとるがね」との声。三年間の練習の成果がやっと出てきたのかと、感慨もひとしお。秋に予定されている老人会に向けて練習に熱を入れていくところである。こんなチャンスを下さつたみどり・薫・お慧ちゃんの三人に感謝。

教師の性を捨てられるか

22年度入会 森本 直樹
(元 愛知・東郷中)

現在、二市町の教育委員会から依頼され、掛け持ちで非常勤の仕事をしている。現役時代にお世話になった市町への恩返しと思って感謝の気持ちで一生涯懸命取り組んできた。ところが年数が経過するごとに、これでもいいのかと思うことが多くなってきた。行政の職員は教員と同じ公務員である。でも、次のようなことを目にする。①今すぐやらなければならぬ仕事があるのにそのままにして休みをとる。②自分の仕事を助けてもらっているのに人任せにして知らん顔をする。③仕事のミス素直に認めず言い訳ばかりして逃れようとする、上司も責任をとろうとせず部下をかばう、などである。

今の立場上、現役の時のように注意したり指導したりすることはできないが、行政の世界は教員の世界と随分違うと感じるようになった。

比べること自体が間違っているかもしれないが、つい自分が育つてきた教員畑の経験で物事を判断してしまう自分がいる。

退職して四年が過ぎても、そういう教員の性がまだ自分に残っているようだ。もうそれを捨てなければと最近強く思うようになった。捨てることができた後の自分が、どうなっているか楽しみでもある。

片付けるそばから

23年度入会 西垣 彰俊
(元 豊田・小清水小)

シネマガイドの批評は参考になるが、どうせシニア料金だから外れたって、たいした痛手ではない。良ければ原作を取り寄せ、さらに活字で楽しむ手もある。このパターンで夏川草介の『神様のカルテ』を知った。お奨めだ。ただし文庫本三冊分の収納スペースが必要となる。

ラックを占拠する大量の本を処分した。日の目を見る品々には朗報だろうが、行く行くは彼らにも同様の末路が待つ

ている。何しろ手狭な上に衝動買いが過ぎ、物をどけてからでない座れない横になれない。出番があるかも程度の期待で置いてもらえらと思つたら、甘い。

そんな折、探していたカメラ、フジペットがネットオークションに出品された。当時おやじが買ってくれた昭和三十二年製と同型機だ。とりあえず一万円で落札すると、レトロというくくりで、頼みもしないおまけが四台ついてきた。いらぬおせっかいをしてくれる。

後生大事にしまっておいたお宝が、急にほこりくさい代物に思えてしまう。ゴミになった瞬間だ。同じ時間を共有した生き証人、と考えれば特別な価値が与えられていい。そんな自分だけの感傷に浸っている場合ではない。ポイポイ捨てて、次の入荷に備えなくちゃ。

要らない物を断つ・捨てる。でも執着から離れるのは、むり。

料理を作る楽しみ

24年度入会 二宮 英二
(元 名古屋・富士中)

現職中もときどき晩御飯を作るがありました。が、退

職後に「男の料理」を基礎から身につけようと料理教室に通いました。料理教室の先生の話はプロの重みがあり参考になることが多いです。野菜の切り方や料理の手順など自己流で行っていたことは違いました。隠し味にもトウバンジャンやXO醤を使ったり、香辛料としてクミンパウダーやガラムマサラを入れたりすることにより、深みのある味わいを出すことを学びました。



よく使う香辛料

今まで何気なく見ていた料理番組も興味を持ちながら真剣にみています。料理は味だけでなく、見た目も大切ですし、色どりや盛り付け方にも気を使うようになりました。また、栄養素のバランスの大切さにも気付きました。

料理を作る楽しさと食べる

喜びを感じながら、これからは自分だけでなく家族にも喜ばれ「おいしい」と言ってもらえるように料理の腕を磨いていきたいです。

空の青さ

25年度入会 田中 将弘
(元 丹羽・大口中)

『空って、何て青いんだー』ひと汗掻いて、大地に寝そべり空を見た時、最初に浮かんできた言葉である。

退職後、家庭教育コーディネーターとして、週四日の勤務に就いている。残りの三日間は、長男が営んでいる葡萄栽培を手伝っている。

一口に葡萄と言っても奥が深いもので、品種により、成育時期に合わせての手のかけ方が全く違うので毎日が勉強である。ただ、現職時は机上の学びが多かったのに比べ、体で覚える学びである。その分、疲れや体のあちこちに痛みを感じることも多い。

しかし、寒い冬季から小まめに手をかけてきた一枝一枝の成長に喜びを覚える。ここには、教職で味わった感覚と通じるものがある。また、思わぬ副産物もある。実は、体重が七kgも減り、腰回りがスリムになったので、ゴルフの

スコアも上がってきたのである。(ただ、顔の色が日焼けで真っ黒になり、ゴルフばかりやっている、周囲の皆さんから言われるが...)

五月晴れのある日、作業でひと汗掻いたあとの休憩時に空を見上げた。まさに、空を見て 仰ぐ青さの 気持ちよさ(大口町更生保護女性会から卒業生一人一人に送られた俳句の一つ)である。

ささやかな楽しみ

26年度入会 鳥山 晴美
(元 豊橋・牛川小)

なぜこんな大きなお寺が二つ、町中に隣り合うように、しかも名前もよく似て...。

京都に行くと東本願寺に度々足を運びます。荘厳な御影堂に座ると身も心もほっとします。東本願寺の西にはその名の通り西本願寺があります。浄土真宗と真宗、親鸞と蓮如。義父が真宗の僧侶だったこともあり興味があります。

退職金で念願のミシンを買いました。もともと手芸が好きで、ゆっくり没頭できる時間が欲しいと思っていました。作品一号、古い靴下で作った犬のぬいぐるみは一歳半の孫にすぐ放り投げられました。若いお母さんに交じりパン

作りにも挑戦しました。家で再現してみたらパンともクッキーともいえない物ができ、一人で悲しく食べました。

老いた母親が近くにおり、幼い孫がこれまた近くにいるため介護と子守のセカンドライフです。母は今のところデイサービスをフル活用し、何とか落ち着いています。子守は週半分。児童館にもばばデビューしました。

空いた貴重な時間を使って、浄土真宗のお経「正信偈」の講座、パン教室、手芸講座。月三回のささやかな楽しみを励みにして、今日も、おんぶでしか寝ない孫の昼寝の二時間を耐えています。

平成26年度 愛知県退職校長会 入会状況
(20年度～26年度会員数) H26.3.31現在 (人)

年度	20	21	22	23	24	25	26	計
尾 張	68	98	92	76	89	85	74	582
名古屋	83	69	68	66	68	66	65	485
三 河	110	101	98	86	111	87	96	689
合 計	261	268	258	228	268	238	235	1,756

会員交流広場

ウイグルの市場



26年度入会 根本真太郎
(元 豊橋・芦原小)
数年前、娘と二人で中国西部の新疆ウイグル自治区を旅してきた。遊牧民だったウイグル族の人々は人懐っこくて優しい。ウルムチでの爆発事件のニュースを聞いたたびに、心が痛む。

だんじり祭の「静・動」



21年度入会 内蔵 真澄
(元 稲沢・領内小)
連続テレビ小説「カーネーション」では、岸和田のだんじり祭が一つの大きなテーマでした。

立不教坐不議【莊子】



摘莊子語刻之發已菊月偵南
25年度入会 久保 博満
(元 名古屋・片平小)
「立ちて教えず、坐して議せず」と読む。立つて教えもしなければ、講席に座って議論をするようなこともしない。それでいて教えられるところがある。そこそが真の教育者である、という意味である。

現職校長会情報

平成二十六年愛知県小中学校長会総会が、五月十六日(金)に日本特殊陶業市民会館にて開催されました。

平成二十六年度

愛知県小中学校長会

役員・理事一覧(敬称略)

- 会長 岡崎 岡田 豊(井田小)
●副会長(五名) 熱田 小神一夫(白鳥小)
春日井 森 乙平(中部中)
東海 加藤千博(加木屋小)
刈谷 金原 宏(刈谷南中)
西 寺崎敏博(菊井中)
●監査(三名) 豊川 山田清志(小坂井中)
岩倉 野木森広(岩倉中)
名東 長谷川京子(貴船小)
●庶務理事(六名) 新城 伊藤雅朗(新城小)
豊田 酒井 敬(豊南中)
稲沢 清水 茂(稲沢東小)
海部 今井雅良(蟹江中)
東 鈴木 篤(葵小)
東 関口大介(富士中)
●会計理事(六名) 豊田 坂部良二(足助小)
蒲郡 鈴木 洋(蒲郡中)
春日井 宮田健一(小野小)
日進 久保田力(日進西中)
東 山内敏之(山吹小)
中 稲熊和己(前津中)



岡田会長は、引き続き「学力・教師力を高め、信頼される校長会」をめざそうと呼びかけました。議案の審議・承認とともに活動方針が採択されました。

- 専門委員会・部会理事(十二名)
法制 梶田志津子(旗屋小)
教育条件 石井 尚(豊田小)
学校経営 高橋光雄(竹の山小)
進路 内田幹男(内海中)
保健体育 鈴木実俊(福岡小)
福祉安全 花井 隆(田原中)
給食 鈴木敏彦(西部中)
生徒指導 権田 昭(半田中)
特別支援 赤根昭英(大須小)
広報 杉浦 徹(東郷西小)
修学旅行 片山義文(武豊中)
教育課題 原田隆行(鳳来中)

訃報 (内はご逝去された日)

- 築瀬 三吉先生(二六・一・二七)
元 豊田市立豊南中学校
莊田 幸男先生(二六・二・九)
元 豊田市立飯野小学校
波多野完嗣先生(二六・二・一六)
元 春日井市立上条小学校
飯尾 貞人先生(二六・三・五)
元 小牧市立小牧西中学校
井上 茂樹先生(二六・三・一八)
元 名古屋市立有松中学校
河合 正行先生(二六・四・三〇)
元 蒲郡市立大塚中学校
林 敏仁先生(二六・五・二六)
元 稲沢市立大里東中学校
ご逝去されました先生の冥福をお祈りいたします。なお、本会より弔電にて弔意を表させていただきます。

事務局だより

執筆していただいた皆様、新開設の「会員交流広場」に作品をお寄せいただいた皆様に心より感謝申し上げます。事務局は、七月一日より、事務局長の林正美が退任し、新次長として前岡崎市立小豆坂小学校長栗田錦治が着任しました。事務局一同さわやかな対応を心がけてまいります。

- 事務局長 浅野 隆義
○事務局次長 水谷 朋和
○事務局次長 栗田 錦治
○事務局員 加藤美津代

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目 四九番一〇号
愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
電話 〇五二・二六・一八五二
FAX 〇五二・二六・一八〇七
E-mail aikocho@axel.ocn.ne.jp